

English version is below.

宿泊約款

(適用範囲)

第1条

当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊約款及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。

2 当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらずその特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条

当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出でいただきます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
- (4) その他当ホテルが必要と認める事項

2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条

宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときには、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。

3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際には返還します。

4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条

- 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることができます。
- 2 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条

- 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (5) 宿泊に関する合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (7) 宿泊しようとする者が、暴行、脅迫、恐喝等のほか、暴力的 requirement 行為、その他威圧的な不当要求及び行為をしたとき。
 - (8) 宿泊しようとする者が、喧騒な行為のほか、危険、不安等を感じさせるなど、宿泊又は利用する他のお客様に迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (9) かつて当ホテルもしくは、他ホテルにおいて、本条(3)(5)(7)及び(8)のいずれかに該当する行為をしたことがあるとき。
 - (10) 宿泊しようとする者が暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又はその関係者であるとき。
 - (11) 宿泊しようとする者が、暴力団員が役員に就任、又は事業活動を支配している法人その他の団体の役職員であるとき。
 - (12) 宿泊しようとする者が、反社会的団体やその構成員等社会の秩序・安全に脅威を与える反社会的勢力であるとき。
 - (13) 都道府県条例の規定する場合に該当するとき。
 - (14) 宿泊客に支払能力がないと明らかに認められるとき。
 - (15) 宿泊客が当ホテルの定める利用規則に従わないとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条

- 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

第7条

- 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。なお、本条による契約の解除により生じた損害については、当ホテルは一切責任を負いません。
- (1) 宿泊約款第5条のうち各号の一に該当するとき、あるいは該当することがホテル利用中に判明したとき。
- (2) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただけません。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (3) 宿泊に関した合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (4) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (5) 宿泊しようとする者が泥酔者等で、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。あるいは宿泊者が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。（熊本県旅館業法施行条例第5条）

(宿泊の登録)

第 8 条

- 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - (2) 外国人にあっては、旅券の呈示、国籍、旅券番号、入国情地及び入国情年月日
 - (3) 出発日及び出発予定期刻
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 日本国内に住所を有しない外国人にあってはパスポートの呈示並びにコピー等をさせていただきます。
- 3 宿泊客が第 12 条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第 9 条

- 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後 2 時から翌日午前 11 時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- (1) 超過 3 時間までは、室料金の 30%
 - (2) 超過 6 時間までは、室料金の 50%
 - (3) 超過 6 時間以上は、室料金の 100%

(利用規則の遵守)

第 10 条

- 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第 11 条

- 当ホテルの主な施設等の営業時間に関しては、Video On Demand をご参照ください。

(料金の支払い)

第 12 条

- 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。
- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード、電子マネー等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
 - 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第 13 条

- 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 2.当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第 14 条

- 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得てできる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できることについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第 15 条

- 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、減失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは 20 万円を限度としてその損害を賠償します。
- 2 宿泊客が当ホテルにお持込みになった物品であって、フロントにお預けにならなかったものについては、当ホテルの故意又は重大な過失により減失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。
- 3 ただし、前 2 項の場合における当ホテルの責任は、宿泊客からあらかじめ種類及び価格の明告のなかつたものについては、20 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第 16 条

- 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め 7 日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 3 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項第 3 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項第 3 項の規定に準じるものとします。

(駐車の責任)

第 17 条

宿泊客が当ホテルの提携駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、管理者は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、管理者の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第 18 条

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに對し、その損害を賠償していただきます。

(支配する国語)

第 19 条

本約款は日本語と英語で作成されますが、約款の両文の間に不一致又は相違があるときは、日本文がすべての点について支配するものとします。(管轄及び準拠法)

(管轄及び準拠法)

第 20 条

本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表第 1 宿泊料金の内訳 (第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係)

宿泊客が支払うべき総額

宿泊料金

- ① 基本宿泊料 (室料)
- ② サービス料 ($\text{①} \times 10\%$)

追加料金

- ③ 飲食料又は追加飲食料
- ④ サービス料 ($\text{③} \times 10\%$)
- ⑤ その他の利用料金

税金

- ⑥ 消費税

備考

1. 基本宿泊料は、当ホテルが掲示する料金表によります。
2. その他の利用料金
電話代 (通話料金及び所定の手数料)、ランドリーダイ等
3. ソファーベッド、補助ベッドのご使用については、夫々1台につき規定の料金を申し受けます。
4. 税法が改正された場合はその改正された規定によります。

別表第2 違約金 (第6条第2項関係)

契約申込人数

5名まで

不泊・・・ 100%

当日・・・ 80%

前日・・・ 20%

6名～99名まで

不泊・・・ 100%

当日・・・ 80%

前日・・・ 20%

9日前・・・ 10%

100名以上(団体)

不泊・・・ 100%

当日・・・ 80%

前日・・・ 20%

9日前・・・ 20%

20日前・・・ 10%

(注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。

2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわりなく、1日分(初日)の

違約金を收受いたします。

3. 団体(6名以上)の予約の部分取り消しについては宿泊予約係までお問い合わせください。

4. 但し、別途個別の違約金契約を結んだ場合は、その取り決めを優先します。

(インターネットサービスに関する免責事項)

第21条

お客様ご自身の責任にて行うものといたします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当社は一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用に当社が不適切と判断した行為により、当社および第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

利用規則

当ホテルではすべてのお客様に、安全かつ快適にお過ごしいただきますように、宿泊約款第10条の定めにある通り、下記の規則をお守りくださいますようお願いいたします。この規則をお守りいただけないときは、宿泊約款第7条により、ご宿泊契約及びこれに関連する契約を解除させていただく場合もございます。

火災防止上お守りいただきたい事項

- 1 客室、廊下、ロビーなど指定された場所以外での喫煙はご遠慮ください。
- 2 ホテル内で暖房用、炊事用等の火気器具等はご使用にならないでください。
- 3 客室入口ドアの裏側に掲示してある避難経路図及び各階の非常口をご確認ください。

保安上お守りいただきたい事項

- 1 客室から出られるときは、施錠をご確認ください。ご在室中や特に就寝の時は内鍵とドアラッチをおかけください。尚、当ホテル係員がご滞在中に清掃、ミニバー、ランドリー等の業務で入室させていただく場合がございます。在室中や特にご就寝の時は、内鍵又は客室内入口の「おこさないでください」のボタンを押してください。訪問者がございます場合は、ドアスコープで確認されるか、ドアラッチを掛けたまま半開にしてご確認ください。
- 2 客室に外来のお客様をお招きにならないでください。
(ご面会はロビーをご利用ください。)
- 3 未成年者のみのご宿泊は特に保護者の許可がない限りお断りしております。

貴重品、お預かり品のお取扱いについて

- 1 お忘れ物、遺失物の処置は法令にもとづいてお取り扱いさせていただきます。
- 2 ご滞在中は、現金、貴金属等の貴重品は、客室内のセーフティボックスをご利用ください。客室内のセーフティボックスは、その使用方法並びに保管物の管理においても使用者の責任においての利用といたします。

お支払いについて

- 1 お買い物代、切符代、タクシー代、郵便切手代、荷物の送料等の立替えはお断りさせていただきます。
- 2 ご到着時にお預り金を申し受けることがございますのでご了承ください。
- 3 ホテル内のレストラン、バー等をご署名によってご利用される場合は、係員に部屋番号と宿泊者名をお伝えください。
- 4 客室内より電話をご利用の際は施設利用料が加算されますのでご了承ください。
- 5 ご予定の宿泊日数を変更なさる場合は、予めフロント係員にご連絡ください。ご延泊の場合はそれまでのお支払いをお願い申し上げます。
- 6 ご滞在中、フロントから請求書の提示がございましたらその都度お支払いください。
- 7 料金のお支払いは通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、クーポン券、電子マネー若しくはクレジットカードによりフロントにてお支払いください。尚、旅行小切手以外の小切手でのお支払い及び、両替には応じかねますのでご了承ください。
- 8 勝手ながら所定の税金のほかお勘定の 10%をサービス料として加算させていただきます。従業員への心づけはご辞退申しあげます。

固くお断りする事項

- 1 ホテル内に次のようなものをお持ち込みにならないでください。
 - (イ) 動物などその他のペット一般
上記の定めに関わらず身体障害者補助犬法に定める盲導犬・聴導犬・介助犬の同伴は可能です。
 - (ロ) 悪臭・異臭を発生するもの
 - (ハ) 著しく多数量な物品
- (二) 火薬・揮発油等発火または引火しやすいもの
- (ホ) 所持を許可されていない鉄砲、刀剣類
- (ヘ) その他、法で所持又は携帯を禁じられているもの
- 2 客室内の諸設備諸物品を当ホテルにご相談なく他の場所へ移動させる等、現状を変更するようなことはなさらないでください。
- 3 不可抗力以外の事由により建造物、家具、備品その他の物品を損傷、紛失、あるいは汚染された場合には、相当額を弁償していただくことがあります。
- 4 客室を当ホテルの許可なしに宿泊以外の目的にご使用にならないでください。
- 5 ホテル内の営業施設以外の場所に許可なく立入らないでください。
- 6 ホテル内に当ホテルの許可なしに、外部から飲食物のご注文や持ち込みはなさらないでください。
- 7 ホテル内では許可なしに、広告物の配布、提示または物品の販売等はなさらないでください。

- 8 廊下やロビー等の場所に所持品を放置なさらないでください。
- 9 ホテルの外観を損なう様なものを窓側に陳列なさらないでください。
- 10 ホテル内で撮影された写真等を許可なく営業上の目的で公になさることは、法的措置の対象となることがありますのでご注意ください。
- 11 ナイトウエア、浴衣、パジャマ、スリッパなどで廊下等客室外にお出にならないでください。
- 12 次の各号に該当する場合は、宿泊約款第5条第1項第3号、第7号、及び第7条第1項第1号、第2号により、予約成立後あるいはご利用中であっても、事実が判明した時点でお断りさせていただきます。
 - (イ) 利用者が暴力団等反社会的勢力およびその関係者ならびに公共の秩序、善良の風俗に反する恐れのある場合
 - (ロ) 暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求及びこれに類する行為が認められるとき（かつて同様な行為をされた方についても同様にご利用をお断りいたします。）
 - (ハ) 心神耗弱、薬品等による自己喪失などにより、他にお客様に危険な恐怖感、不安感を及ぼす恐れがあると認められるとき
 - (ニ) 館内及び客室内で大声、放歌及び喧騒な行為その他で他者に嫌悪感を与え、または迷惑を及ぼしたと認められるとき
 - (ホ) 館内、及び客室内で、賭博その他法令や公序良俗に反する行為をしたと認められるとき
 - (ヘ) その他上記各事項に準ずる事情のあるとき
- 13 本規則は日本語と英語で作成されますが、規則の両文の間に不一致又は相違があるときは、日本文がすべての点について支配するものとします。
- 14 本規則に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

預り品規

1 (預り期間)

- (1) 預り期間は、当ホテルが預り品をお預りした日からお受取りご指定日までとします。
- (2) お受取り指定日は、当ホテルが預り品をお預りした日から1ヵ月以内に限ります。
- (3) お受取り日の指定がない場合は、預り期間はお預りの日から1ヵ月間とします。

2 (受取り人)

預り品のお受取り人は、お預けになられたご本人又はその方がお受取り人としてご指定された第三者とします。

3 (受取り人の確認)

お受取り人又は権限を与えられた第三者は、預り品のお受取りを請求なされる際、当ホテルの係の者に預り証をご提示ください。お受取り人がご依頼人によって指定された第三者の場合は、預り証のご提示は不要ですが、正当なお受取り人であることを示すものご提示を求めることができます。係員は相当の注意をもってお受取り人の同一性を確認し、預り品をお返しします。この場合、当ホテルは預り品に関して責任を免れるものとします。

4 (損害の賠償)

- (1) 預り品の紛失、毀損、変質、その他一般に不可抗力とされている事由による損害に対しては、当ホテルはその責任を負いません。
- (2) 預り品の毀損、変質その他ご依頼人の責めに帰すべき事由により当ホテル又は第三者が損害を受けたときは、その損害を賠償していただきます。

5 (預り品処分)

- (1) 預り期間終了後1週間以内に預かり品のお受取りがない場合は、当ホテルは預り品を別途通常の管理をし、一般に適当と認められる方法、時期、価格等により処分することができるものとします。かかる処分が困難な場合、当ホテルは当該預り品を廃棄することができるものとします。
- (2) 前項の処分に要する費用はご依頼人の負担とします。ただし、処分によって得られた代金は、処分の費用に充当することができるものとします。

6 (緊急措置)

- (1) 当ホテルは、次のような事態が生じたときは、臨機の措置をとることができるものとします。
 - (a) 司法機関の要求により預り品の開披を求めたとき
 - (b) 火災、預り品の異変、その他緊急を要する事態
- (2) 上記のいずれかの事態が発生した場合、当ホテルは預り品に生じた損害について何らの責任を負いません。

7 (支配する国語)

本規定は日本語と英語で作成されますが、規定の両文の間に不一致又は相違があるときは、日本分がすべての点について支配するものとします。

8 (管轄及び準拠法)

本規定に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

客室施設のご案内

これからの一とき、どうぞごゆっくりお過ごしください。

ルームキー

扉は自動的に閉じ、施錠されますので、お部屋からお出になる時は、ルームキーをお持ちください。また、ご滞在中にはご携行ください。チェックアウトの際にはご返却ください。

貴重品

現金及び貴重品は、客室内設置の金庫をご利用ください。お部屋での紛失、盗難につきましては、当ホテルは一切責任を負いかねます。

空調

室温は適温にセットされておりますが壁面のコントロールパネルでご調整いただけます。

テレビ

リモコンで操作できます。放送チャンネルの詳細は、備えつけの「テレビガイド」をご覧ください。

冷蔵庫（一部のフロアのみ）

自己申告制のミニバーになっております。ご利用いただきました数量を備えつけの伝票にご記入の上、ご出発時にフロントにてご精算ください。（ご滞在中は当方にて、ご利用数を計上させていただきます。）

製氷機

南側非常階段口横に製氷機がございます。

防災・防犯に関するお願ひ

非常口のご案内

非常口は廊下のつき当たりいずれの側にもございます。また、万一火災・地震などが発生いたしましたときも、エレベーターによる避難は危険ですから、係員の指示に従い、落ちついて非常口より避難してください。客室からの避難経路図は客室入口ドアの裏側に掲示しておりますので、ご確認ください。

消火器・消火栓

消火器は廊下に3カ所、消火用散水栓は廊下の両端に、それぞれ設置いたしております。
お部屋近くの設置場所をご確認ください。

施錠

ご在室時は施錠の上、ドアラッチをおかけください。訪問者がございます場合は、ドアスコープでご確認されるか、ドアラッチを掛けたままドアを半開きにしてご確認ください。

喫煙規則

禁煙客室での喫煙及びベッドでの喫煙はご遠慮ください。

客室は2022年4月より全室禁煙ルームとなります。

喫煙所は、屋外[正面玄関を出て左に進んだ場所]にございます。

(利用時間 7:00~22:00)

愛煙家の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。禁煙ルームでの喫煙（電子タバコ含む）、および、吸殻等を発見した場合には、客室クリーニングによる客室販売停止の損害補償代金として5万円を請求させていただきますのでご了承ください。

非常時はフロント（短縮ダイヤル）へ

火災にお気づきの時、また不審な人物を見かけられた時など、非常時はフロントへお知らせください。

詳しくは備えつけの「火災・防犯の手引き」をご覧ください。

Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Scope of Application

Article 1

Contracts for Accommodation and related agreements between this Hotel and the Guest shall be subject to the following

Terms and Conditions. Anything not included within the following list shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

2. In case the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Application for Accommodation Contracts

Article 2

A Guest who intends to apply for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name of the Guest(s);
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1); and
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest requests, during the Guest's stay, extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Conclusion of Accommodation Contract, etc.

Article 3

A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6, and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2 of Article 3, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

Article 4

Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as if the Hotel had accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Refusal of accommodation Contracts

Article 5

The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the application for accommodation does not conform to the provisions of these Terms and Conditions;
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available;
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to act in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to the Guest's accommodation;

- (4) When the Guest seeking accommodation is clearly detected to be carrying an infectious disease;
- (5) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to the Guest's accommodation;
- (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of the facilities and/or other unavoidable causes;
- (7) When the Guest seeking accommodation acts violently, makes threats, intimidates, makes violent demands, or makes any other coercive or unreasonable demand or action;
- (8) When the Guest seeking accommodation acts disruptively or dangerously, causing distress to other Guests, or behaves in any other way which may cause trouble for the facility or other Guests;
- (9) When the Guest seeking accommodation has breached articles (3), (5), (7), or (8) of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts of the Hotel or other Hotel in the past;
- (10) When the Guest seeking accommodation is a gang member, or is part of or related to an organization associated with gangs;
- (11) When the Guest seeking accommodation is associated with a corporation or organization whose board members or members are identified as gangsters and who control business;
- (12) When the Guest seeking accommodation is part of or a member of an antisocial group that threatens the order and safety of society;
- (13) When conforming to the cases stipulated by Prefectural Ordinance;
- (14) When it is proven that the Guest has no financial ability to compensate for the services.
- (15) When the Guest otherwise fails to abide by the House Regulations established by the Hotel.

Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest

Article 6

- The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.
2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
 3. In the case when the Guest does not appear by 8 p.m. of the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of such) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel

Article 7

The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases. Furthermore, the Hotel assumes no responsibility for damages incurred from cancellations of the Accommodation Contract conducted in accordance to this Article.

- (1) When the Guest corresponds to any of the items listed in Article 5 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts, or when such a connection is discovered during the Guest's stay.
- (2) When the Guest does not abstain from prohibited actions such as smoking in bed, tampering with the fire-fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires).

2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any services which he did not receive during the contractual period.
 - (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself/herself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his/her accommodation;
 - (2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease;
 - (3) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his/her accommodation;
 - (4) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
 - (5) When the Guest seeking accommodation, owing to heavy intoxication or other reasons, is liable to cause annoyance to others and/or, in fact, conducts himself/herself in a disorderly manner and disturbs or annoys other guests. (The provisions of Article No.14 of Kumamoto Prefecture Ordinance)

Registration

Article 8

The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation.

- (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
(2) For non-Japanese Guest(s); nationality, passport number, port and date of entry into Japan
(3) Date and estimated time of departure; and
(4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. All Guests of foreign nationality who do not reside within Japan will be asked to leave a photocopy of their passport with the Front Desk.
3. In the case when the Guest intends to pay the Guest's Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Occupancy Hours of Guest Rooms

Article 9.

The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 2:00 p.m. to noon the next 11:00a.m. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:

- (1) Up to 3 hours: 30% of the room charge.
- (2) Up to 6 hours: 50% of the room charge.
- (3) More than 6 hours: 100% of the room charge.

Observance of House Rules

Article 10.

The Guest shall observe the House Rules established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Business Hours

Article 11.

Please refer to Video On Demand for business hours such as the main facilities of this Hotel.

Payment of Accommodation Charges

Article 12.

The breakdown of the Accommodation charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the Attached Table No.1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's checks, coupons, credit cards or electronic money recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for the Guest by the Hotel and which are at the Guest's disposal.

Liabilities of the Hotel

Article 13.

The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

2. The Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

Procedure when unable to provide Contracted Rooms

Article 14.

The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

Handling of Deposited Articles

Article 15.

The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report its kind and value but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 200,000 yen.

2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk.
3. However, regarding the liabilities of the Hotel prescribed in the preceding two paragraphs, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 200,000 yen when the Guest has failed to report the kind and value of the goods.

Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest

Article 16.

- When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before the Guest's arrival, the Hotel shall be liable to keep it only when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of the Guest's check-in.
2. When the baggage or belongings of the Guest are found left behind after the Guest's check-out, and the ownership of the article is identified, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not identified, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
 3. The liabilities of the Hotel regarding custody of baggage and/or belongings of the Guest prescribed in the preceding two paragraphs shall conform to the provisions of Paragraph 1 and Paragraph 3 of the preceding article for Paragraph 1 of this article, and to the provisions of Paragraph 2 and Paragraph 3 of the same preceding article for the preceding paragraph of this article.

Liability in Regard to Parking

Article 17.

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the Affiliated parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited at the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

Liability of the Guest

Article 18.

The Guest shall compensate the Hotel for damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Governing Language

Article 19.

These Provisions are written both in Japanese and in English. In the event of any inconsistency or difference between the two versions of these Provisions, the Japanese version shall prevail in all respects.

Jurisdiction and Applicable Laws

Article 20.

Any dispute arising from/or in relation to these Provisions shall be referred to the Japanese court having jurisdiction over the location of this Hotel and resolved in accordance with applicable Japanese laws.

Attached Table No.1

The breakdown of the Accommodation charges, etc. (Ref. Paragraph 1 of Article 2, and Paragraph 1 of Article 12)

Total amount to be paid by the Guest

Accommodation Charges

- ① Basic Accommodation Charges (Room Charges)
- ② Service Charge ((1) × 10%)

Extra Charges

- ③ Meals & Drinks (or Extra Meals & Drinks)
- ④ Service Charge ((3) × 10%)
- ⑤ Other Expenses

Taxes

- ⑥ Consumption Tax

Remarks of Table No. 1:

1. Basic Accommodation Charge is based on the tariffs, which are posted in this Hotel.
2. Other expenses under (5) include telephone charge with facility service charge, laundry charges, etc.
3. The applicable charge for an extra bed, if requested, shall be added to above.
4. Those charges are subject to change to revisions of the Tax Laws concerned.

Attached Table No.2

Cancellation charge for Hotel (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

up to 5

No show . . . 100%

Accommodation Day . . . 80%

1 Day Prior to Accommodation Day . . . 20%

Group 6 to 99

No show . . . 100%

Accommodation Day . . . 80%

1 Day Prior to Accommodation Day . . . 20%

9 Days Prior to Accommodation Day . . . 10%

100 and more

No show . . . 100%

Accommodation Day . . . 80%

1 Day Prior to Accommodation Day . . . 20%

9 Day Prior to Accommodation Day . . . 20%

20 Day Prior to Accommodation Day . . . 10%

Remarks to Table No.2 :

1. The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charge.
2. When the number of days contracted is shortened, the cancellation charge for the first day of the cancelled period shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. The hotel's Room Reservation is the contact when part of a group booking (consisting of 6 persons or more) is cancelled.
4. However, if separate/individual group contracts have been previously signed, these prior arrangements will take precedence.

Waiver for Computer Communication Service

Article 21.

Please be informed that we are not responsible for any possible damage that may be caused by a system failure or for other reasons while the computer communication services are being used. In addition, the Guest may be required to compensate the Hotel and a third party for any possible damage caused by acts that we judge to be an inappropriate use of our computer communication system.

House Rules

Welcome to Hotel Nikko Osaka. We hope that you will enjoy your stay and be able to make full use of our facilities. Hotel Guests are kindly requested to observe the rules, outlined in Article 10 of the Accommodation Contract, so that their stay will be both comfortable and safe. If Guests do not observe these rules, the Hotel will be obliged to cancel their accommodations and the related contract as specified in Article 7

Fire Prevention Regulations

1. Please refrain from smoking in all places including guest rooms corridors and lobby, excluding smoking areas.
2. Please do not use any personal appliances for heating or cooking in the guest room.
3. Please review the information on evacuation routes that is posted on the inside of your room door, and confirm the location of the emergency exits on your floor.

Safety Regulations

1. Please make sure the door is locked securely when you leave the room. It is also advisable to lock the door and use the door latch while you are in the room. Before opening the door, please check the peephole or open the door latch without removing the swing-bar lock. Furthermore, as the Housekeeping Staff may come into your room to clean or to pick up laundry, please lock the door or press the "please do not disturb" sign on the door when you are in your room.
2. Please do not invite visitors to your guest room, nor entertain them there. (Please use the lobby for meeting visitors.)
3. The Hotel may refuse to accommodate under-age Guests, unless prior agreement has been made with a guardian.

Regarding Valuables and Unclaimed Articles

1. The Hotel reserves the right to dispose of all articles left behind, lost or unclaimed, in accordance with Government Law.
2. The Hotel requests that Guests use safe deposit boxes for all valuables. We cannot assume responsibility for loss or theft of articles that are not deposited with us. The room safe is operated and controlled by the Guest. The Hotel takes no responsibility for the contents placed there by the Guest.

Payment

1. The Hotel will not make payment on behalf of Guest for expenses such as train tickets, taxi fares, postage, packing charges or shopping in the Hotel.
2. The hotel may request the Guest to pay a deposit for hotel charges upon arrival.
3. Please show your room key or lodging certificate card to the cashier when you sign bills or chits at the Hotel's restaurants and bars.
4. A facility service charge will be added when room telephones are used for outside calls.
5. Should you wish to change your period of stay, please notify the front clerk in advance.
Please pay for all charges equivalent to your stay period up to the time when you extend your stay.
6. The Hotel may ask for immediate payment when bills due exceed an amount set by the management.
7. Please settle payments in cash, traveler's checks, credit cards, electronic money or coupons which are acceptable to the management. Please note that the Hotel does not accept any checks except traveler's checks for payments and/or money exchange.
8. A 10% service charge and taxes at the rate prescribed by applicable laws shall be added to your bills. You are cordially requested not to give tips to the hotel employees.

Prohibitions

1. Please do not bring the following into the Hotel:
 - (a) Pets and other animals in general.

As exception of above regulation, Guests may be accompanied by guide dogs, hearing dogs or service dogs stipulated in Laws concerning Assistant dogs for the physically impaired.
 - (b) Malodorous articles.
 - (c) Excessively large quantity of personal goods.
 - (d) Explosive, volatile or flammable materials.
 - (e) Unlicensed firearms or swords.
 - (f) Other items or articles which may threaten the safety of other Hotel Guests.
2. Please refrain from removing any Hotel belongings without the consent of the management.
3. If Hotel belongings are damaged or lost by the Guest due to the Guest's negligence, the Hotel may ask for compensation.
4. Please refrain from using the guest rooms for purposes other than lodging, dining and drinking without the consent of the management.
5. Please do not enter restricted areas of the Hotel.
6. Please refrain from bringing food or drinks into the Hotel, or Ordering delivery of food or drinks into the Hotel from outside without the consent of the management.
7. Please do not distribute or post advertising bills, or sell goods in the Hotel's public area.
8. Please do not leave any personal belongings or goods in the Hotel's public area.
9. Please refrain from putting any articles in or near windows which could detract from the external appearance of the Hotel.
10. Using photographs taken in the Hotel for commercial or public purposes is illegal, and those who do so will be subject to prosecution.
11. Nightclothes (yukata) and slippers have been provided for your use in your guest room.

Kindly refrain from going out of your room in yukata or slippers.

12. In accordance with Subparagraph (3) of Paragraph 1 of Article 5, Subparagraph (7) of Paragraph 1 of Article 5, Subparagraph (1) of Paragraph 1 of Article 7 and/or Subparagraph (2) of Paragraph 1 of Article 7 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts, the Hotel will refuse accommodation immediately in the following cases.
 - (A) When Guests are discovered to belong to a criminal organization (gangsters, radical groups and their members).
 - (B) When violence, threats, blackmail, coercion or similar behavior is reported (also any person who has exhibited, or was responsible for such behavior in the past).
 - (C) When the Hotel believes that a person is behaving in an extremely erratic or irresponsible manner (e.g., a person suffering from a mental or other condition who is not in control of the Guests actions, or a person with diminished capacity as a result of drug use), may endanger the life of, cause harm to, disturb or annoy other Hotel Guests and patrons.
 - (D) When Guests disturb other Hotel Guests and patrons by making loud noise on the Hotel premises.
 - (E) When Guests have engaged in gambling, or committed any other offenses against public order.
 - (F) When the Hotel discovers that Guests have a history of any behavior similar to that mentioned above.
13. These rules are written both in Japanese and in English. In the event of any inconsistency or difference between the two versions of these rules, the Japanese version shall prevail in all respects.
14. Any dispute arising from or in relation to these rules shall be referred to the Japanese court having jurisdiction over the location of this Hotel and resolved in accordance with applicable Japanese laws.

Provisions for Articles in Custody

Article 1-Period of Custody

- 1.1 The period of custody shall run from the day on which an article is delivered into the custody of the Hotel until the designated date of claim.
- 1.2 The designated date of claim shall be within one (1) month from the day on which the article was delivered into the custody of the Hotel.
- 1.3 If no such designation of date is made, the period of custody shall run for one (1) month beginning on the day the article was put into custody.

Article 2-Claimant

The claimant of the article in custody shall be either the person who requested we take custody or a third person appointed as the claimant by the Guest.

Article 3-Confirmation of Claimant

The claimant shall submit the Claim Certificate of the clerk of the Hotel in charge of the article in custody at the time the Guest claims the return of the article. In the event that the claimant is a third party appointed by the person who requested custody, submission of the Claim Certificate will not be necessary. However, the Hotel may require the Guest to submit proof that the Guest is the correct claimant. The clerk shall exercise reasonable care to confirm the identity of the person claiming the article prior to returning it. the Hotel shall thereafter have no further responsibility with respect to the article claimed.

Article 4-Compensation for Damage

- 4.1 Any loss, destruction, deterioration or other damage to the article in custody which has occurred by reason of force majeure as the term is commonly defined shall not be the responsibility of the Hotel.
- 4.2 Any person using the custody service shall have a duty to compensate for any damage which the Hotel and/or any third party suffers if such damage is due to the destruction or deterioration of the article in custody or any other reasons for which the said person is responsible.

Article 5-Disposition of Article in Custody

- 5.1 If the claimant does not claim the article in custody within one (1) week after the period of custody, the Hotel shall keep said article separately from those in normal custody and may dispose of it by the method, at the price, which is generally deemed appropriate at that time. If such disposition is difficult, the Hotel may discard said article.
- 5.2 The cost of the disposition described in the paragraph immediately above shall be borne by the person who requested custody, provided that the proceeds of said disposition shall be off-set against the costs of disposition.

Article 6-Emergency Steps

- 6.1 The Hotel may take emergency steps that are appropriate under the circumstances in the following events:
 - a) Demand by legal authorities that the article in custody be opened or otherwise disposed of;
 - b) Fire, abnormality in the condition of the article or other exigent circumstances
- 6.2 In the event of the occurrence of any of the above-mentioned circumstances, the Hotel shall bear no responsibility for damage caused to the article in custody.

Article 7-Governing Language

These Provisions are written both in Japanese and in English. In the event of any inconsistency or difference between the two versions of these Provisions, the Japanese version shall prevail in all respects.

Article 8-Jurisdiction and Applicable Laws

Any dispute arising from or in relation to these Provisions shall be referred to the Japanese court having jurisdiction over the location of the Hotel and resolved in accordance with applicable Japanese laws.

Guest Room Facilities

For your convenience, please find listed below general information regarding the facilities and amenities in your guest room.

Room Key

The door locks automatically when shut. When you go out, please take your card key and keep it with you at all times. Please return the card key when you check out.

Valuables

Please put cash and valuables in the safe in your room. The Hotel assumes no responsibility whatever for loss or theft of valuables in rooms.

Air conditioning

The room temperature is controlled at an appropriate temperature and can be adjusted with the control panel on the wall.

TV

A remote controller is available for operating the television. Please refer to the "TV GUIDE" for television operating instructions.

Refrigerator (only on some floors)

Please use the refrigerator as a mini-bar based on self-reporting system. Please list drinks taken on the last day of your stay on the slip provided and pay for them when you check out. (The Hotel counts taken drinks during your stay.)

Ice Maker

For your convenience, ice machines are located on each floor.

For Your Safety

Although Hotel Nikko Kumamoto maintains rigid quality control standards in accordance with government regulations, we need your cooperation in order to fully guarantee your safety. Please be aware of and observe the following:

Emergency Information

Emergency Exits

Stairs are located at both ends of each floor. In case of fire or an earthquake, do NOT use the elevators, and follow the instructions of the hotel staff.

Please confirm the evacuation route diagram indicated on the inside of your room door.

Fire Extinguishers and Hoses

Fire extinguishers are located in 3 places in the corridor, and fire hoses are located at both sides of the corridor. Please make sure you know where they are located.

Room Security

Please lock the door and use the door latch when you are in your room. Before opening the door, please look through the peephole or open the door slightly without removing the door latch.

Smoking Rules

Please refrain from smoking in bed or smoking in non-smoking rooms.

All the guest rooms will become non-smoking from April 2022.

The smoking area is located outdoors (the place where you left the front door and proceeded to the left, using time 7:00am-22:00pm.).

We apologize for any inconvenience this may cause, and appreciate your understanding and cooperation. Please note that if we found smoking or cigarette butts in your room, total charge of 50,000 yen will be imposed on you for room cleaning and damage compensation fee.

Emergency Calls (Speed Dial)

Please report emergencies, fires, or suspicious-looking persons to the Front Desk.

Detailed safety measures are listed in the guidebook in your room.